

世界に誇れる夢のある街に

●都心の再整備

「人が動く」⇒三宮駅周辺のターミナル集約化適地検討、3層ネットワーク検討、東遊園地活性化調査
「エリアが輝く」⇒エリア毎の特性を活かした都心全体の活力の創生(行政施設の立地のあり方検討)
「デザイン都市を創る」⇒神戸らしい都市景観の保全(都心の景観高質化戦略、デザインに優れた案内サイン)



●神戸医療産業都市(スーパーコンピュータポスト「京」)の立地決定、国家戦略特区指定、iPS細胞を用いた再生医療の実用化を加速

⇒国家的プロジェクトである神戸アイセンターの整備支援、スパコン京等を活用した創業者手法であるインシリコ創薬の推進、先進的な介護、リハビリ機器開発企業の誘致

●環境貢献都市の推進

⇒スマート水素ステーション整備、官民連携による水素ガスタービン発電の実証事業、家庭用燃料電池設置補助

●魅力ある海と空のみなとづくり

⇒国際コンテナ戦略港湾の推進、神戸空港のコンセッション準備(関西3空港一体運営への対応)

本物の市政改革をすすめる 新しい地方自治がはじまる街に

●ICTを活用した市民サービスの向上

⇒証明書コンビニ交付システムの構築・運用、社会保障・税番号制度への対応(H27.10個人番号通知、H28.1カード交付)

証明書コンビニ交付システムの構築・運用



場所・利用時間の拡大

利用場所:全国約44,000カ所
利用時間:6時30分~23時

対象証明書の拡大

住民票・印鑑証明に加え
戸籍・各種税証明も取得可能

●行財政改革2015の推進と事務事業の見直し

⇒職員総定数の削減(H7~27 7151人:30%削減)、県市協調による東京事務所や海外事務所の県市一体設置など29項目の事務事業見直しを実施(約12億円の削減効果)

●市民のニーズの迅速な把握と情報発信力の強化

⇒大学生と連携した「KOBE学生まちバス」、民間事業者の活用等による広報

●組織体制の見直しと戦略的な人材育成

⇒政策立案・シティプロモーション・防災担当・公共交通等の部門強化、職員研修拡充

久元きぞう後援会連合会事務局からのお知らせ

催しのご案内

現在、久元祐子さんのピアノ演奏、ゲストによる歌、久元きぞうのトークの催しを企画中です。

日時:9月19日(土) 14時から

場所:うはらホール(東灘区民ホール)

仮題:「歌・ピアノ・トークによるラトビアの音楽と文化」

詳細が決まれば、ホームページでご案内させていただきます。

久元きぞう

検索

クリック

久元きぞうオフィシャルサイト

<http://hisamoto-kizo.com/>

後援会連合会平成26年度収支決算について

平成26年度(1月1日から12月31日まで)の収支決算状況は、以下のとおりです。

収入合計は、6,851万円でした。主な内訳は、寄附金537万円、3月と11月に開催いたしました「神戸市長久元きぞうと語る会」の会費6,145万円などです。支出合計は、3,888万円でした。主な内訳は、事務局職員の人件費、事務所費など1,463万円。メールマガジンなどの宣伝事業費261万円、「語る会」開催事業費1,643万円、総会開催費など232万円です。収支差額2,963万円を平成27年度に繰越します。なお、借入金残高は、2,500万円です。従いまして、実質的には、463万円の繰越となります。詳しくは、事務局までお問い合わせください。



発行:久元きぞう後援会連合会
May 2015 第3号
651-0084
神戸市中央区磯辺通4丁目2番26号 新美春ビル内
TEL:078-222-0155
FAX:078-222-0166

KOBE 上昇気流 Vol.3

あなたとともに、神戸を新しいステージへ

みなさまの日頃のご支援、ご協力に対しまして心から厚くお礼申し上げます。

あの阪神・淡路大震災から20年が過ぎました。

市民のみなさんの再生への熱い想いと弛まざる努力によって、今日の姿を取り戻すことができました。

しかし、20年の歳月を経て、今、少子・超高齢化の進展による人口減少にどう対処していくかが、全国的に大きな課題となっています。

27年度予算は、私にとって二度目の予算となります。

この人口減少社会の到来に対して、神戸が「選ばれるまち」になるための効果的な施策をバランスよくスピーディに進めていく、そのような予算を心がけました。

一昨年の選挙でみなさまにお約束した「輝ける未来創造都市」の実現に向けて、全力で、着実に取り組んでまいりますので、一層のご支援をよろしくお願いいたします。

神戸市長

久元 喜造



お知らせ

久元市長に対する支援の輪を広げましょう。

後援会ではあなたのご入会をお待ちしています。既に会員の方は新たに会員になっていただける方をご紹介します。

ご連絡は

① お電話で 078-222-0155

又は

② ネットで 久元きぞう

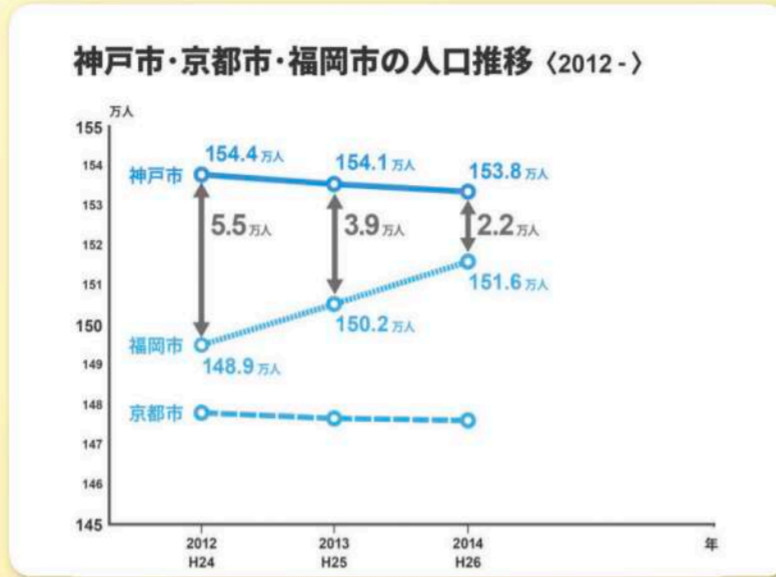
検索

クリック

輝ける未来創造都市の実現に向けて

人口減少社会の到来

少子超高齢化の進展により、地方から東京などの大都市への人口流出による人口減少、いわゆる「極点社会」の到来は全国レベルで問題提起がなされています。神戸市は全国で5番目の大都市ですが、平成24年以降、3年連続で人口が減少しており、人口減少社会への対応は、神戸市にとって重要な市政課題になっています。

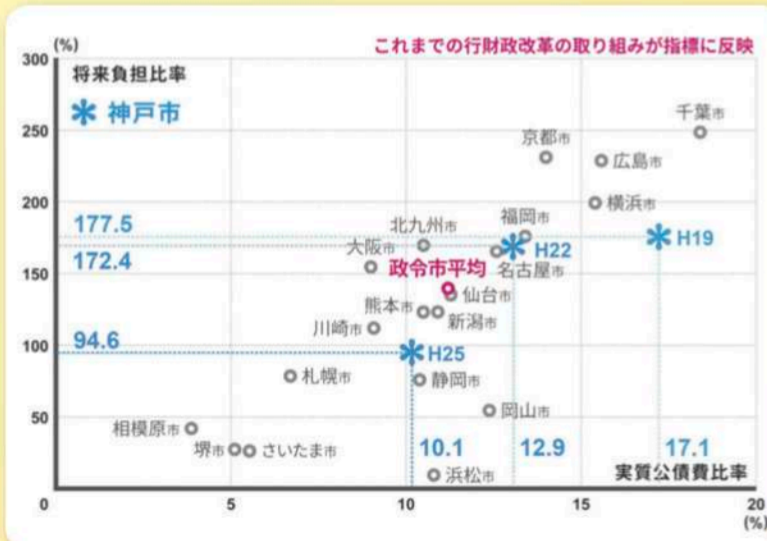


財政健全化に対する評価と平成27年度予算

これまで取り組んできた行財政改革の成果と将来的な財政健全化の見通しとともに、医療産業都市の国家戦略特区への指定、都心の再整備などの施策が評価され、格付投資情報センター (R&I社) による格付けが平成19年に格付けを取得して以来、初めてAA+に格上げとなりました。今後は、こうした財政対応力の向上を背景に、財政の健全化とあわせて未来の成長軌道につながる積極的な事業展開を両立させていきたいと考えています。

平成27年度予算は人口減少社会対策として、定住・移住の促進、子育て・教育環境の向上、福祉施策の積極的な展開、産業競争力の強化などの施策をバランスよくスピーディに展開することに留意しました。また、都心の再生、医療産業都市、交通インフラ整備など、将来のまちの活力の原動力となるプロジェクトの推進を重点化した結果、一般会計では5年ぶりに前年度比増となる積極型予算を編成しました。

財政健全化判断比率



平成27年度 神戸市当初予算

| | 平成27年度 | 平成26年度 | 増△減 |
|------|-----------|-----------|----------------|
| 一般会計 | 7,282億円 | 7,071億円 | +211億円 (+3.0%) |
| 特別会計 | 7,486億円 | 6,911億円 | +575億円 (+8.3%) |
| 企業会計 | 3,308億円 | 3,664億円 | △356億円 (△9.7%) |
| 合計 | 1兆8,076億円 | 1兆7,646億円 | +430億円 (+2.4%) |



安心して子育て・教育ができる街に

- 待機児童の解消に向けた取り組み強化
⇒ 保育定員を約1200名拡大し、保育定員が約25,598人に
- 乳幼児等・こども医療費の負担軽減
⇒ 1、2歳児に対する所得制限を撤廃し、すべての3歳未満児の医療費の自己負担が無料に
- 子ども・子育て支援新制度の実施
⇒ 認定こども園・幼稚園・保育所・小規模保育等による量・質の改善
- 安全・安心な放課後の居場所づくり
⇒ 学童保育の質・量の拡充、全児童の放課後居場所の拡充
- 子どもたちの学びを支える環境整備
⇒ 全小学校(167校)への防犯カメラの設置、全小学校の空調整備、学校体育館等の天井など非構造部材の耐震化、公共交通機関を利用して通学する児童・生徒への通学費補助 など
- 児童・生徒の学力向上
⇒ 学力向上支援チーム派遣、神戸市学力定着度調査の拡充(国

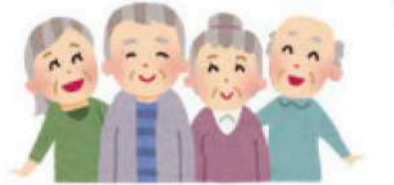
の調査とあわせて小4~中3まで6年間を通じた学力の把握)、学ぶ力・生きる力向上支援員配置、学習支援ツール導入(中学校は全校導入)など

- いじめ・不登校対策の充実
⇒ スクールカウンセラーの配置、スクールソーシャルワーカーの配置など

◆ 保育所定員数・待機児童数の推移



市民が地域とつながり、福祉と医療をはじめ安心してらせる街に



- 高齢者の方が地域とつながり いきいきと元気に暮らせるまち (地域支え合い、認知症対策、医療介護連携)
⇒ 見守りや買い物などの生活支援(担い手の発掘やマッチング)、ウォーキング・脳トレなど自主的な介護予防活動への支援、ひとりぐらしの高齢者の方への見守り訪問活動、認知症初期集中支援チームの配置・認知症カフェ開設支援、地域包括ケアシステム構築(医療介護連携強化と在宅医療の推進)、介護保険サービス基盤の整備
- 障がいのある方が安心して豊かに暮らせるまち
⇒ 外出時のサポート(ガイドヘルプ、歩行訓練指導)、自動車燃料費助成の創設(H28.10~)手話通訳者の報酬見直し・派遣範囲の

- 拡大、人工内耳体外機更新費用一部助成制度創設
- 質の高い保健・医療の提供
⇒ がん対策の推進(検診受診率向上、支援体制構築)、感染症対策(4種混合ワクチン等予防接種費用助成、風疹抗体調査・予防接種費助成)、市民病院の診察機能強化(中央市民病院・西市民病院の増築、高度医療機器の導入)
- 土砂災害・津波対策の推進等
⇒ 土砂災害避難マップの全世帯配布、南海トラフ大地震による津波に対応した防潮施設の構造補強、消防団の体制強化(装備品の整備、出勤手当・報酬の支給基準引上げ)

市民が元気で働けるにぎわいのある街に

- 定住・移住の促進
⇒ 神戸・里山暮らしの積極的な推進(里づくり交流体験、農村定住促進コーディネータの配置)、プロモーションサイト構築、神戸への移住プログラムの調査・検討、空家活用支援制度の創設、大学への市営住宅提供、計画的開発団地のリノベーション(多聞台、高倉台)、六甲アイランドの活性化
- 公共交通網の整備
⇒ 郊外の基幹交通ネットワークの利用促進(神戸電鉄利用促進バスによる社会実験など)、LRT・BRT導入検討調査、ポートアイランドへのアクセス向上(バス社会実験、ポートライナー2編成増備)、地域住民による自主運行バスへの支援、地下鉄三宮駅ホームドアの設置
- 産業の競争力強化
⇒ 航空宇宙分野など戦略産業への設備投資・新規開発・試作開発への支援、国優遇制度の対象とならない東京等から既成市街地への本社機

スタートアップオフィス (イメージ)



- 能移転時の助成、起業家活動拠点となる都心でのスタートアップオフィスの設置、シリコンバレーへの若手人材の派遣、オープンデータの活用・推進とIT関連産業の振興
- 地域商業や農漁業の活性化
⇒ 民活導入による商店街の空き店舗対策、卸・仲卸・小売が連携した流通の活性化事業、農水産物ブランド化推進、海外展開など新規ビジネス支援、フルーツフラワーパークでの道の駅整備
- 観光、芸術・文化・歴史・スポーツの振興等都市の魅力化
⇒ WIFI環境拡大、国内外への積極的なプロモーションの展開、アジアクルーズ誘致インセンティブ制度の創設、博物館リニューアル検討、神戸ビエンナーレ2015、茅葺民家・ハンター邸等歴史的建築物の保存活用調査、ラグビーワールドカップ2019の開催、関西ワールドマスターズゲーム2021